

にじ



福祉チャリティーバザー



賛助会員加入のお願い

土庄町社会福祉協議会では、社会福祉の充実と住みよい町を築く為ご協力頂ける賛助会員を募集しております。お互いの幸せのためにお力添えを賜りたいと思います。

主な内容

福祉チャリティーバザー……………2 いつまでもお元気で	令和6年度共同募金実績報告 …… 6 赤い羽根共同募金のお願い
防災セミナー……………3 社会福祉法人等活動紹介	あたたかい善意…………… 7 新評議員・表彰者紹介
成年後見制度研修会……………4 土庄町シルバー人材センター	いきいきサロン活動…………… 8 表紙の紹介
鹿島明神社大祭こども相撲大会……………5 老人スポーツ大会	

福祉チャリティーバザー

土庄町老人福祉大会に合わせ社会福祉協議会の恒例のチャリティーバザーが盛大に開催されました。町民の皆様の善意の出品が多数集まり、整理・値付け・陳列に大わらわでした。昨年は久しぶりの開催で何かと戸惑うことがありましたが、ロビーの広さが前日からの搬入、展示準備などに大助かりでした。

販売開始の合図を待ちかねていた買い物が一斉に売り場の品定めを始めます。やがて袋一杯の品を抱え、笑顔が溢れます。「こんなに安く買えて嬉しい」とお礼の言葉も飛び出て来ます。我々がいつも「良かった！」と拭う汗も爽やかに感じられるひと時です。

この収益が各福祉・ボランティア活動をされている団体に配分されます。少しずつでも活動の糧になればと、品物を寄付して下さった方々とバザーに参加された団体に感謝し、来年に向け準備を始めます。



令和6年度 福祉チャリティーバザー収益金配分決定額 (円)

団体・グループ名	使用目的	決定額
1 土庄町婦人会	土庄町婦人会スポーツ大会運営費	10,000
2 土庄町老人クラブ連合会	広報誌町老連印刷費	15,000
3 土庄町身体障害者福祉会	香川県障害者スポーツ大会参加費	15,000
4 小豆郡手をつなぐ育成会	会報誌印刷費	10,000
5 小豆更生保護女性会土庄支部	視察研修参加費	6,000
合計		56,000



今年の9月9日(月) 敬老の日を前に土庄町長と土庄町社会福祉協議会長が95歳以上の高齢者と米寿の方を訪問し、皆様の長寿をお祝いしました。

9月1日現在で、わが町の95歳以上の方は203名(男31名・女172名)、その内100歳以上の方は28名(男1名・女27名)いらっしゃいます。

これからもお体を大切になさってください。

いっしょに
お元気で

防災セミナーに参加しました

9月11日(水) サンシャイン会
多目的ホールにて防災セミナー
が開催されました。香川県防炎
士会の向井盛泰氏らをお招きし、
防炎士・一級建築士の観点から
小豆島に焦点を当てた講演をい
ただきました。

南海トラフ地震への防災意識
が高まっていますが、災害は地
震だけではありません。災害発
生に伴う二次災害、津波や土砂
崩れなど様々な危険があります。

そのため行政や事業所は、事
前に※業務継続計画（BCP）
を立て、リスクの把握と建物・

設備の安全対策を
行うことが義務付
けられています。

もし南海トラフ
地震が発生した場合、小豆島では土
庄港・池田港・内
海灣で1〜3m級
の津波が約半日以
上繰り返される想
定とのことでした。
また防災だけで
なく減災も大事



で、家具の転倒防止用グッズを
利用することで建物が倒壊する
リスクを下げ、避難時に家具が
倒れて逃げ遅れることも少なく
なります。

災害が起きないことが一番で
すが万が一の時に備えて被害を
抑え、復旧までの時間を短縮で
きるよう住民一人ひとりが意識
することが必要だと改めて感じ
ました。

※業務継続計画（BCP）…災害や事
故などに備え、事業を継続させるた
めに必要な事項を盛り込んだ計画書

社会福祉法人等活動紹介

SCC 小豆島

いただいています。

余暇活動も自分を癒す大切な
時間です。創作・趣味活動を通
してリフレッシュする方法も学
んでいただきたく多くのプログ
ラムも準備しております。

1人で悩まず、ぜひ相談して
ください。

お待ちしております
(^o^)

私達SCCグループは多くの
人が集まる場所を、そしてその
方々に寄り添える場所作りを目
指しています。そしてこの度、
令和6年10月から小豆島中央病
院隣の池田保健センター内にて
「就労継続支援B型事業所」開所
致しました。

和気あいあいとみんなが自然
と集まる場所作り。日々頑張っ
ているあなたのそばにいて応援
したい。仕事だけでなく、生活、
健康、苦手な事を一緒に考えて、
地域で活躍するお手伝いができ
ればと考えています。

「働きたいと思ってるが一人
では何をどうしたらいいか分か
らない」、「働けるのが不安だ」
など、障がいや困り感のある方
それぞれにあった場所（事業所
内や地域）で訓練を行い、就労
の可能性を高めていきたいと思
っています。多くの地元企業
様から、いろいろな作業提供も



令和6年度 第1回成年後見制度 利用促進研修会が開催されました

10月29日(火)イマーシュセンターにて成年後見(せいねんこうけん)制度に関する研修会が行われました。

土庄町・小豆島町から自治会長や民生委員など約60名が参加され、講師には船井社会福祉士事務所船井康雄先生にお越しいただきました。

成年後見制度は、知的障害・精神障害・認知症などによって判断能力の不十分な方を保護し、いろいろな契約や手続きをする際にお手伝いする制度です。

船井先生からはまず「成年後見制度とは」から始まり、地域のネットワークの大切さについて「今日帰ったら皆さんからご近所さんに制度の紹介や周知をしていきましよう」とお話をいただきました。また、

◎法定後見制度

↓今すぐに必要なケース

◎任意後見制度

↓将来的に備えておく

というふうに分けると覚えやす



く「そういうえば聞いたことはあるけど、実際に自分や家族が直面したらどうしたらいいのだろう」「今すぐではないけど相談したいな」という方は是非社協にお問い合わせください。

土庄町社協では法人後見事業として、ご家族や弁護士等の専門職に代わり後見人を務める事業をしております。

シルバー人材センターの活動紹介

12月11日(水)イマーシュセンターで終活セミナーを開催しました。シルバーの会員やシルバー事業に興味があり会員の対象となる方約30名が参加し、講師の大西先生のお話を聞きました。財産や生前の片付、ペットやお墓のことなど誰もが気になっていることについて資料やインディングノートに沿って分かりやすく説明があり、その中で特に印象に残ったのは「昨日の自分より今日の自分が一番若い」という言葉でした。与えられた時間を目一杯楽しみ充実した人生を送ること、また健康を維持するために社会とのつながりを持つことや適度なお仕事を持ち収入を得て老後の貯えとすることも大事であるということでした。

セミナー後は土庄町、小豆島町のブースに分かれて



入会説明会を行いました。来年度もシルバー会員の対象となる方に集まっていたいただけるような企画を予定していますので興味のある方はぜひご参加ください。

12月8日(日)国民宿舎小豆島で忘年会を開催しました。カラオケを歌い美味しいお食事をいただきながらおしゃべりをして大いに盛り上がりあっという間に時間が過ぎました。会員の皆で過ごす楽しい時間がまたお仕事や日常生活の活力となる貴重な時間となりました。

鹿島明神社大祭 奉納ごども相撲大会

11月3日(日) 鹿島明神社にて

鹿島自治会主催でのごども相撲大会が行われました。土庄町子ども会育成連絡協議会協賛のもと、土庄町内の小学生約30人(未就学児の神相撲は約10人)が参加しました。今年度より女の子の参加も歓迎しており、一緒に相撲を楽しみました。2週間ほど前から鹿島の浜から土を持ってきて土俵を作ります。今年は小豆島相撲連盟が協力してくれて、土俵づくりに加え、相撲参加者に本格的にまわしも巻いてくれました。

この奉納相撲大会は、江戸時代後期より相撲好きな女の神様を祀った明神社で、五穀豊穡を願う奉納相撲を始めたのがきっかけで現代まで続いていきます。

自治会女性役員、婦人会の協力で来場者へのカレーのお接待や、青年団のバザーなどもありました。当日は天気にも恵まれ、ごども達が一生懸命相撲をとる姿に来場者もおおいに盛り上がりました。



小豆郡老人スポーツ大会(土庄会場)開催

10月25日(金)フレトピアホールで老人スポーツ大会を開催しました。今回は約300人が参加し、7地区対抗で熱戦が繰り広げられました。

刈崎地区代表 高橋正博さんによるユーモアあふれる選手宣誓に始まり、ご来賓にも参加していただき本気の玉入れを楽しみました。ダルマ運びや大玉運びなどスピードを競う競技だけでなく、輪投げやペットボトル倒しなど走るのが苦手な人も参加できる競技もありみんな一生懸命にプレーしました。地区対抗ということもあり、応援にも熱が入ります。いつの間にか大声で応援合戦が繰り広げられていました。来年は応援賞も設けてもっとたくさんの人に楽しんでもらいたいです。

競技が終わればみんなで円になり河内音頭や炭坑節を踊りました。練習の成果もあり、みんなとても上手に踊っていました。優勝は北浦地区でした。なんと29年ぶりの優勝で北浦チームは歓喜に湧きました。



赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました



令和6年度に皆様からお寄せいただいた募金は、全額「香川県共同募金会」に送金しました。令和7年度の事業に還元されることとなりますので皆様の地域にも役立たせてもらっています。

《令和6年度 赤い羽根共同募金実績額》

	募 金 名		実 績 額
1	戸別募金・法人募金・その他	土庄地区	1,118,523
2	戸別募金	淵崎地区	718,200
3		大鐸地区	207,600
4		北浦地区	242,400
5		四海地区	308,400
6		豊島地区	202,800
7		大部地区	226,800
8		法人募金	香川県農協
9	百十四銀行		9,000
10	職域募金		246,500
11	学校募金		0
12	個人募金		6,145
13	街頭募金		47,125
14	イベント募金		15,302
15	募金百貨プロジェクト寄付金		4,398
16	その他の募金		40
17	その他の募金（自動販売機）		67,791
	合 計		3,451,024



打ち込みうどん

こちらが職域募金でご協力いただいた『赤い羽根うどん県バッジ』です。

毎年、バッジのデザインが変わります。今年の10月からまた新デザインのバッジになりますのでご協力お願いします。

1個 500円



あたたかい善意

ありがとうございます

(令和6年8月1日から令和7年1月31日まで)

香典返しや、その他あたたかいご寄付ありがとうございました。
本紙をもって厚くお礼申し上げます。

(敬称略、受付順)



町社協に対するもの

十万円	岡上政之	天神
三万円	木村忠博	淵崎
三万円	洲本滋子	西本町
三万円	森川誠三	鹿島
五万円	八代孝明	本町
金一封	三木康司	笠滝
五万円	井藤由紀子	伊喜末
一万円	長谷川清満	北山
五万円	藤本忠文	新町

土庄分会に対するもの

三万円	森川誠三	鹿島
五万円	八代孝明	本町
三万円	上原敏志	日進
三万円	山本多津子	親交

淵崎分会に対するもの

三万円	大谷亮介	大谷
五万円	大谷久	大谷

大鐸分会に対するもの

三万円	三木新治	肥土山
三万円	池脇明寿	小馬越
金一封	三木康司	笠滝
三万円	佐伯かすみ	肥土山

北浦分会に対するもの

三万円	藤原和也	見目
二万円	石床達仁	屋形崎
三万円	平岡英雄	屋形崎
三万円	藤原千榮子	見目
三万円	木曾敏邦	屋形崎
三万円	田中誠基	馬越

四海分会に対するもの

三万円	坂本敏明	伊喜末
三万円	後藤利稀	長浜
三万円	井藤利樹	伊喜末
三万円	古谷輔章	小江
三万円	中上廣晴	長浜
三万円	須浪宏和	小江
五万円	井藤由紀子	伊喜末
二万円	山本明美	小江
五万円	高山尚幸	伊喜末
三万円	後田浩司	長浜
三万円	高橋伸嘉	長浜

豊島分会に対するもの

三万円	銭瓶昌明	家浦岡
三万円	木村忠博	家浦岡
三万円	山田真知子	唐櫃浜
三万円	安岐大士	家浦浜
三万円	笠井好廣	家浦岡
三万円	山口明弘	唐櫃浜

大部分会に対するもの

一万円	小川典久	向町
二万円	島田幸治	向町

新評議員・社会福祉大会表彰者紹介

(敬称略・順不同)

◆土庄町社会福祉協議会

新評議員紹介

- ・団体選出評議員
社会奉仕団体代表
佐伯光二
- ・社会福祉事業に理解を有する団体代表
中塚範子

◆令和6年11月26日、全国社会福祉大会が行われました。

・中央共同募金会

会長表彰

松下龍雄

◆令和6年10月22日、第71回香川県社会福祉大会が行われました。

・香川県社会福祉協議会

会長表彰

森川卓

「寄付ありがとうございました」



小瀬「憩いの家」



令和6年10月から小瀬公民館でサロンを始めました。家に閉じこもってばかりでなく、気軽に集まって人と交流するのが目的です。小瀬老人クラブの女性部が中心になってお世話をしていますが、小瀬に住んでいる人ならどなたでも参加していただけます。

今回は歌や体操、手あそび、風船バレーをして楽しみました。風船バレーは5～6人が円になって座り、風船を落とさないようにパスしていきます。単純だけれど身体も動かし、声も笑顔も出ていい運動になります。「動いて楽しかった。今日は、よ～寝られるわ!」と好評でした。その後は待望のおやつタイムです。お茶を飲みながら話に花が咲きます。最後は「おさるのかごや」を歌いながら背中をさすりっこしてサロンを閉じました。

自治会も協力的で、電球が切れても自分では変えられないというような日常生活での困りごとも申し出てくれたら役員が対応するというような体制をとっています。この日は公民館の出入口に手すりを付けてほしいとの要望があり、すぐに対応してくれていました。サロンでの集まりが困りごとをスムーズに解決するきっかけにもなり、より安心感が生まれます。参加者からは、楽しいので月1回とは

言わずもう1回増やして欲しいとの要望もあり、嬉しい悲鳴です。



《日時》毎月第4日曜日
13:30～15:00

《場所》小瀬公民館

《会費》1回 100円

表紙の紹介



11月22日(金)

福祉チャリティーバザーが行われました

今年も大勢の方々と多くの品物に囲まれ活気あるチャリティーバザーを開くことが出来ました。今年は、念願の看板も作っていただきました。来年もこの看板を立て、地域の皆様にとっての楽しい時間を福祉団体やボランティアグループの方々と共に作っていきたいと思います。

土庄町社協だより『にじ』の印刷費の一部は共同募金助成金をあてています。